

## 陸上自衛隊第9師団 沿革

昭和31年12月	第9混成団を青森駐屯地に新編
昭和32年 8月	第9特科連隊を岩手駐屯地へ移駐
昭和37年 8月	第9混成団を第9師団に改編 第38普通科連隊を八戸駐屯地に新編 第39普通科連隊を八戸駐屯地に新編
昭和43年 3月	第39普通科連隊を弘前駐屯地へ移駐
平成 2年 3月	第9後方支援連隊を青森駐屯地に新編 第9高射特科大隊を岩手駐屯地に新編
平成 6年 3月	第9飛行隊を隷属(八戸駐屯地)
平成11年 3月	第38普通科連隊を多賀城駐屯地へ移駐 第38普通科連隊は第9師団から第6師団に編入 第21普通科連隊を編入(秋田駐屯地)
平成16年 3月	第9化学防護隊を青森駐屯地に新編
平成22年 3月	第9対戦車隊の廃止 第9後方支援連隊を八戸駐屯地に移駐

### — 写真展示開催にあたって —

本年3月11日午後2時46分過ぎに起きた「東北地方太平洋沖地震」とそれに伴って発生した津波、その後もくり返す大きな余震。

それらがもたらした壊滅的な大規模地震災害「東日本大震災」のつめ跡は、今も東北から関東にかけての太平洋岸に深く残り、復興までの道のりの険しさを私たちに伝えていきます。

災害発生の日3月11日 何10万人もの人たちが救援を待つ被災地にいち早く駆けつけたのが、司令部が青森駐屯地にあり、北東北三県5ヶ所の駐屯地の所在部隊で編成されている陸上自衛隊第9師団でした。

第9師団では、災害発生の日11日のうちに、三県に所在する部隊（第9師団以外の部隊も含む。）から約6,600名もの隊員を現地に派遣しています。如何に迅速な対応であったのかがわかります。

その後、岩手県庁に師団司令部を設置して活動を続け、7月26日に一部任務を残し災害派遣活動を終了するまでの活動を数字でみると多大なものです。

それ以上に、2,530人の方のご遺体収容や親族・知人を亡くされた方々と接する活動は、大変辛いものであったと察するに余りあります。

青森県立図書館では、災害の状況は勿論ですが、自衛隊の皆さんの被災された方々に寄り添うような活動と、心のふれあい、子供たちの笑顔が戻るまでの日々を知っていただくため、写真展示を実施することとしました。紹介するのは活動のほんの一部ですが、たくさんの“ありがとう”が聞こえてきます。

## 伝えよう災害の教訓と 活動の記録

たくさんの“ありがとう”が聞こえる

### 陸上自衛隊第9師団 東日本大震災災害派遣活動写真展



青森県立図書館

2011.9.4 迄

# 第9師団の活動概要

「東日本大震災」災害派遣活動成果(第9師団)		
区 分	成 果	
延 派 遣 人 員 数	約600,000名	
人 命 救 助 者 数	460名	
ご 遺 体 収 容 数	2,530名	
生 活 支 援	給 食	約1,540,000食
	給 水	約7,200t
	入 浴	約271,000人
	輸 送	約11,100両
	洗 濯	約4,100人
瓦 礫 の 除 去	約310,000m <sup>3</sup>	
防 疫	約180,000m <sup>2</sup>	
装 備	車 両	延約340,000両
	ヘリ	延約600機
その他の支援活動	お話し隊	傾聴支援 22ヶ所(約470名)
	激励演奏	41ヶ所(約7,000名)



## ～ 私たちの暮らしとともに ～

第9師団では、国土防衛や災害派遣などだけではなく、“ねぶた”や“盛岡さんさ踊り”への参加、雪まつりの雪像づくりなど地域交流を行っているほか、「国民体育大会」や「青森県民駅伝」などの準備・運営などをサポートしてくれています。

また、音楽隊の定期演奏会、各駐屯地記念行事での一般公開(装備品の展示や車両の体験試乗などもあります。)なども行っており、私たちの暮らしとともに活動されています。

【活動の状況やイベントの詳細情報は、下記HPをご覧ください。】

<http://www.mod.go.jp/gsd/nea/9d/>

## 青森県立図書館

〒030-0184

青森市荒川字藤戸 119-7

電 話：017-729-4311

F A X：017-762-1757

U R L：http://www.plib.pref.aomori.lg.jp



第9師団 部隊章